

あずま

# 東つよしの

日本共産党岡山市議会議員 東つよしニュース

岡山市南区福島 2-7-21 086-803-1707 2015年1月版

HP=<http://t-azuma.seesaa.net/> Mail: [azuma.p@s8.dion.ne.jp](mailto:azuma.p@s8.dion.ne.jp)



## 東つよしの 奔走西走



日本共産党市議団で市役所前の新春宣伝(1/5)

今年もがんばります！

二〇一五年、新しい年もよろしくお願ひします。くらしを守る市政にするため、力を尽くします。

大森市長は集団的自衛権や原発、TPPについて何も言いません。また市は四月からの介護保険料千円の値上げを提案し、国保料の値上げも狙っています。しかし日本共産党以外はどんな政策でもなんでも賛成です。市民の目線で行政をチェックするのが議員の役割ではないでしょうか。

東つよしは市民のみなさんと力を合わせて市政を動かします。税金ムダ使いの下水道光ファイバー事業の見直しを行わせることになりました。国保料の値上げを七年間ストップさせてきました。小学校一年から六年までの医療費が来年四月から通院三割が一分に下がります。東つよしはくらし応援と防災のまちづくりをすすめます。

旭川河畔の住吉宮にて初日の出を見ました。初詣のおみくじは「半吉」でした。↓



↑岡山中卸売市場の初セリ。市場の経営状況はまだまだ厳しいです。



年末は消防団の歳末夜警や、もちつきをしました。↓



# 質問報告

# 11月市議会



東市議は12月4日に個人質問をしました。

## 一、周辺地域でも 住み続けられる行政を

市長は市の長期計画である都市ビジョンの見直しを行うと市議会で表明しました。東市議は周辺地域で行政サービスや公共交通が減り、暮らしていけないという声があがっていることをあげ、どこでも住み続けられる街づくりを提案しました。しかし答弁は、地域拠点、生活拠点と設定する場所に行行政サ

ービスを集め、人口の集積を誘導するというものでした。

東市議は、震災後農村に移住する人が増えている事実をあげ、行政サービス削減はいけないと強調しました。

## 二、国保料値上げにノー

国民健康保険料について、市長自らが値上げは避けられないと述べました。ますます厳しくなっている市民生活に思いをいたして答弁してほしいと質問しましたが、市民に心を寄せた答えはありませんでした。署名を集めて運動で立ち向かいます。

国保料の徴収は「一人ひとりの生活状況に応じたきめ細かな対応を心がける」という答弁でした。しかし、国保料の分納が滞ったら子どもや学資保険を差し押さえるという約束をさせられたという相談が寄せられています。血も涙もない取り立てを行わせないことを現場で徹底させるよう求めました。

## 三、障害者施策は改善を

障害者が65歳になると介護保険を事実上強制され、負担が増える65歳問題。東市議は国に介護保険優先の制度改善を求めるよう求めましたが、行く気がないという答弁の中身でした。冷たいです。

65歳問題は国会でも問題になり、国は9月締切で自治体の実態調査のアンケートを行いました。しかし岡山市は多くの数字を「調査中」のまま提出していました。国が問題を認識し調査しているわけなので、当局に「答弁の時には『すべて出した』と言えるように」とせかしていました。質問したところ、「出した」という答弁でした。

## 四、避難困難者支援へ 啓発リーフ作成

防災対策について、自力避難が困難な人に地域の力で避難をすすめる個別支援計画について、啓発のリーフをつくるという答弁を得まし

た。(時期や対象は検討中)  
市は雨水排水対策を進めるために機構改革を行います。河川部局を下水道部局に移すものですが、農業用水は別部局のままです。東市議は、部局が違ってもゲリラ豪雨に迅速な対応ができるように求め、対応するという答弁でした。

大雨で浸水しやすい地域の内水ハザードマップ作成について、どこが範囲か市民の声を聞きながら進めるという答弁でした。

## つとみや

四月から学童保育の対象が三年までから六年まで広がります。受け入れ人数の増加に備え、平福小の学童保育では校舎の一室を学童保育の施設として使えることになりました。私は運営委員の一人として申し入れなど行ってきました。関係者のみなさんに感謝しきりです。(東つよし)